

第2次武蔵野市子ども読書活動推進計画（令和3年度～7年度） 中間まとめ（案） 変更内容一覧

No.	第4回時点	第5回（今回変更）	変更説明
1	記載なし	表紙にパブリックコメント説明文を記載	新規追加
2	記載なし	巻末に参考資料、用語解説を追加	新規追加
3	イ 児童書の貸出状況 児童書は、蔵書数における比率は 20.4%ですが、貸出数に占める比率は 32.8%となっており、回転率が高いことがわかります	3頁「イ 児童書の貸出状況 蔵書数における比率は、児童書は 20.4%、YA は 4.5%ですが、貸出数に占める比率は、児童書は 32.8%、YA は 5.9%となっており、いずれも回転率が高いことがわかります。」	【第4回委員会意見】 ヤングアダルトについてのコメントを追加
4	記載漏れ	8頁表中 関前南小、第二中の年間貸出冊数(冊)を追記	情報の追加
5	記載なし	8頁「学校図書館の蔵書数は、すべての市立小中学校で1万冊を超えており、また全校とも文部科学省が示す学校図書館図書標準に定められた蔵書数を超えています。」	文案の追加
6	記載なし	8頁「②蔵書の構成」を追加	図表等を追加

※No. 欄に網掛けがある項目は、第4回策定委員会でご意見があがったもの。以下同じ。

No.	第4回時点	第5回（今回変更）	変更説明
7	9頁「市立小中学校の学校図書館」表	8頁「図書館サポーター（人）」行を削除	全て「1」なので削除し、上記のとおりコメントを追加
8	11頁「(3) 幼稚園、保育園、子ども・子育て施設、地域施設などの現状」	11頁「(3) 保育園、幼稚園、子育て支援施設、地域施設などの現状」	【第4回委員会意見】 施設の並び順と施設表記を整理変更（以降の該当箇所も同じく整理変更）
9	11頁「①幼稚園、保育園等での読書活動推進」	11頁「①保育園、幼稚園等での読書活動」	語句の削除
10	12頁「現在は50以上の幼稚園、保育園、こども園等があります。」	11頁「現在は70以上の保育園、幼稚園、こども園等があります。」	【第4回委員会意見】 情報を修正
11	14頁「一方、武蔵野市の子どもの不読率は、小学生は1.1%（小学校3年生）・3.0%（小学校5年生）と全国平均より低いですが、中学生の不読率は21.2%と、全国（12.5%）に比べて高くなっています。」	13頁「一方、武蔵野市の子どもの不読率は、小学生は1.1%（小学校3年生）・3.0%（小学校5年生）と全国平均及び東京都平均より低いですが、中学生の不読率は21.2%と、全国（12.5%）・東京都（8.9%）に比べて高くなっています。」	下段のとおりグラフを変更したのに伴い、コメントを変更
12	記載なし	13頁 不読率に東京都のデータを追加	情報の追加
13	21頁「学校図書館サポーターの充実、研修などによるスキルアップは今後の課題です。」	20頁「学校図書館サポーターの研修の実施は今後の課題です。」	文案の修正

No.	第4回時点	第5回（今回変更）	変更説明
14	22 頁「支援を要する子どもへのサービスとして、」	21 頁「配慮を必要とする子どもへのサービスとして、」	語句の修正
15	23 頁「4. 現状と課題のまとめ」 「以上より、武蔵野市の子ども読書活動推進の現状と課題は、次のようにまとめられます。」	22 頁「4. 現状を踏まえた課題のまとめ」 「武蔵野市子ども読書活動の現状より、課題は次のようにまとめられます。」	【第4回委員会意見】 「課題」を示すことにポイントを置き、見出し及び文案を変更
16	23 頁～25 頁の各見出し	22 頁～24 頁の各見出しを変更（本文参照）	【第4回委員会意見】 「課題」を示すことにポイントを置き、各見出しを見直し変更
17	23 頁「しかし、子どもの読書に関心が薄いあるいはそのための時間的余裕がないなどの状況により、家庭環境によって子どもと本が出会える機会に違いが生じています。」	22 頁「子どもの読書に関心が薄いあるいはそのための時間的余裕がないなどの状況により、家庭環境によって子どもと本が出会える機会に違いが生じてしまわないよう、」	文案を修正
18	23 頁「武蔵野市では、小学生はよく本を読んでいるにもかかわらず、中学生になると不読率が全国レベルより高くなります。」	22 頁「武蔵野市では、小学生はよく本を読んでいるにもかかわらず、中学生になると不読率が全国や東京都の平均より高くなります。」	情報の追加
19	23 頁「■ヤングアダルト世代の読書離れ」 記載なし	22 頁「■青少年の読書離れへの対応」 「また、高校生年代の子どもたちに対する、読書活動の実態把握や図書館利用を通じた働きかけといった対応も求められます。」	【第4回委員会意見】 高校生年代の子どもたちへの働きかけについて課題認識を追記

No.	第4回時点	第5回（今回変更）	変更説明
20	24 頁「■学校図書館に求められる「読書センター」「学習センター」「情報センター」の機能」記載なし	23 頁「■「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての市立小中学校図書館の整備」 「今後、学校図書館は、探究的かつ協働的な学びの場となります。」	文案を追加
21	24 頁「■学校図書館を支える人材配置の不足」 「現在、学校図書館には学校司書がおらず。会計年度任用職員（アシスタント職員）の学校図書館サポーターが各校に 1 名ずつ配置されている状況です。」 「しかし、1 日 5 時間と定められている学校図書館サポーターの勤務時間では、授業での「読書の時間」への対応や資料の整理などで精一杯で、教員と連絡を取る、放課後や昼休みに図書館を開放する、適切な選書や子どもたちへの働きかけ等を行うのが困難な状況です。今後、学校図書館の学習センター化、情報センター化を推進するためにも、学校図書館への学校司書配置を進めていく必要があります。」	23 頁「■市立小中学校の機能拡充に対応した人材の配置」 「現在、学校図書館サポーターが各校 1 名ずつ配置され、「読書の時間」の支援や授業への図書提供、資料の整理などを行い、子どもたちの学びを支えています。しかし、今後の学校図書館の学習センターや情報センターとしての役割を充実していくためには、教員とより一層の連携が必要です。そのため、開館時間延長への対応、適切な選書や子どもたちへの働きかけ等の推進が求められ、これらに対応するための学校図書館サポーター勤務時間の確保といった配置強化が必要です。」	【第4回委員会意見】 学校図書館サポーターの配置に関する課題であることが分かるよう文案を変更
22	25 頁「子どもの心理への理解、読み聞かせの効果的な方法など、知識やテクニックを」	24 頁「子どもの発達段階への理解、読み聞かせ・お話・ブックトークの効果的な方法など、知識や技能を」	【第4回委員会意見】 文案を修正

No.	第4回時点	第5回（今回変更）	変更説明
23	26 頁「基本理念」 「子どもたちが、読書を通じて、豊かな心を培い、自ら学ぶ力を身に付けることで、生きる力を育む」	26 頁「基本理念」 「子どもたちが読書を通じて、豊かな心を培い、自ら学ぶ力を身に付けることで、生きる力を育む」	【第4回委員会意見】 文案を修正
24	26 頁「あるいは目で活字を読む読書や幼い子どもたちが絵本を見る読書、読んでもらって耳で聴く読書があります。そして、この十数年間の」	26 頁「そして目で活字を読む読書や幼い子どもたちが絵本を見る読書、読んでもらって耳で聴く読書があります。さらに、この十数年間の」	【第4回委員会意見】 文案を修正
25	27 頁「分からない事象に出会い疑問を感じて本を開き、」	27 頁「わからない事象に出会い疑問を感じて本を開き、」	【第4回委員会意見】 「わからない」にはいくつかの漢字表記（意味）があるためひらがな表記に修正
26	27 頁「情報を適切に収集し、活用できる力を育む」	27 頁「情報を適切に読み解き、活用できる力を育む」	【第4回委員会意見】 「読書」という観点から、「読み解く」という言葉の方がより適切と考え修正
27	28 頁～29 頁「施策の体系図」	28 頁～29 頁「施策の体系図」（本文参照）	図表を修正
28	30 頁「すべての子どもが読書の楽しさに触れ、読書習慣を身に付けることができる支援を行います。」	30 頁「すべての子どもが読書の楽しさに触れ、読書が学びにつながることを知り、読書習慣を身に付けることができる支援を行います。」	【第4回委員会意見】 読書は「楽しむ」だけでないことを示す文案を追加

No.	第4回時点	第5回（今回変更）	変更説明
29	31 頁「保護者向け読み聞かせ講座」 「家庭での読み聞かせの際に参考になる方法を提供します。」	31 頁「保護者向け読み聞かせ講座」 「家族で同じ本を読む、本の感想を話し合うなど家族のコミュニケーションを深められるよう、保護者向け読み聞かせ講座などを提供します。また実施にあたっては、状況に応じてオンライン開催などの手法も検討します。」	文案の修正
30	31 頁「0123 吉祥寺と 0123 はらっぱに図書館の本を返却できるポストを設置し、」	31 頁「0123 吉祥寺や 0123 はらっぱ、桜堤児童館に図書館の本を返却できるポストを設置し、」	【第4回委員会意見】 市域の東西中央を考慮し、設置検討箇所には桜堤児童館を追加
31	31 頁「市立図書館を家族で楽しめる「ファミリーデー」」	31 頁「市立図書館を家族で楽しめるイベントの開催」	語句の修正
32	33 頁「蔵書の充実【拡充】」 「また、刊行後 10 年以上経過している百科事典や図鑑などの古い図書の適切な頻度での更新を引き続き検討実施します。」	32 頁「蔵書の充実【拡充】」 「また、様々な分野の入門的、実用的な知識を得られる新書等の収集や刊行後 10 年以上経過している百科事典や図鑑などの古い図書の適切な頻度での更新を引き続き検討実施します。」	文案の追加
33	33 頁「新聞配備の検討」 「実社会の諸課題を多面的・多角的に考察するため、中学校では 2 紙（高等学校は 4 紙）配備することが目標となっています。」	33 頁「新聞配備の検討」 「国の「学校図書館図書整備等 5 か年計画」では、実社会の諸課題を多面的・多角的に考察するため、中学校では 2 紙（高等学校は 4 紙）配備することが目標となっています。」	文案の追加

No.	第4回時点	第5回（今回変更）	変更説明
34	33頁「学校図書館サポーターの勤務時間確保【新規】」	33頁「学校図書館を利用できる時間の充実【新規】」	語句の修正
35	33頁「児童・生徒の知的好奇心の醸成を支える人材が必要です。」「…勤務時間を確保します。また、学校図書館サポーターの役割がこれまで以上に重要なものとなってから、役割に合った職名となるよう、導入当初から変更されていない職名の変更を検討します。」	33頁「支援する場としての学校図書館が重要です。」「…勤務時間を確保し、児童・生徒が学校図書館を利活用できる時間を確保します。」	文案を修正
36	34頁「学校におけるメディアリテラシーの育成」	34頁「学校における情報活用能力の育成」	【第4回委員会意見】 語句の修正
37	34頁「学校図書館の「情報センター」「学習センター」としての役割を踏まえ、児童・生徒がインターネットの情報の特性を理解するために、インターネットだけではなく図書や新聞などの資料で確認するなどして、」	34頁「学校図書館の「情報センター」「学習センター」としての役割を踏まえ、探究的かつ協働的な学習活動を支援するため、学校改築でラーニング・コモンズとして整備していくとともに、学校図書館が既存の学校ではタブレット型パソコンを活用した学びに取り組みます。インターネットだけではなく図書や新聞などの資料で確認するなどして、」	【第4回委員会意見】 文案の修正

No.	第4回時点	第5回（今回変更）	変更説明
38	34 頁「市立図書館において、子ども向けデータベース活用講習会やインターネットでの情報収集・活用に関する講座を実施します。」	34 頁「市立図書館において、子ども向けデータベース活用講習会やインターネットでの情報収集・活用に関する講座を実施します。また、インターネット、情報化による子どもの読書への影響に関して、保護者向けの情報提供を行います。」	【第4回委員会意見】 保護者への取組みを含め追記
39	35 頁「⑤新しい発見、知的好奇心を刺激する機会の提供」	34 頁「中学生、高校生の職場体験学習の受入れ」「市立中学校に限らず、中学生、高校生の職場体験学習の受入れを継続して行っていきます。」	【第4回委員会意見】 取組の表に追加
40	31 頁「③配慮を必要とする子どもに向けたサービス」 35 頁「⑦配慮を必要とする子どもに向けたサービス」	37 頁「(4)配慮を必要とする子どもへの取組み」	【第4回委員会意見】 乳幼児期、小中学生に分散して記載するのではなく、各年齢層に共通する取組みとして整理